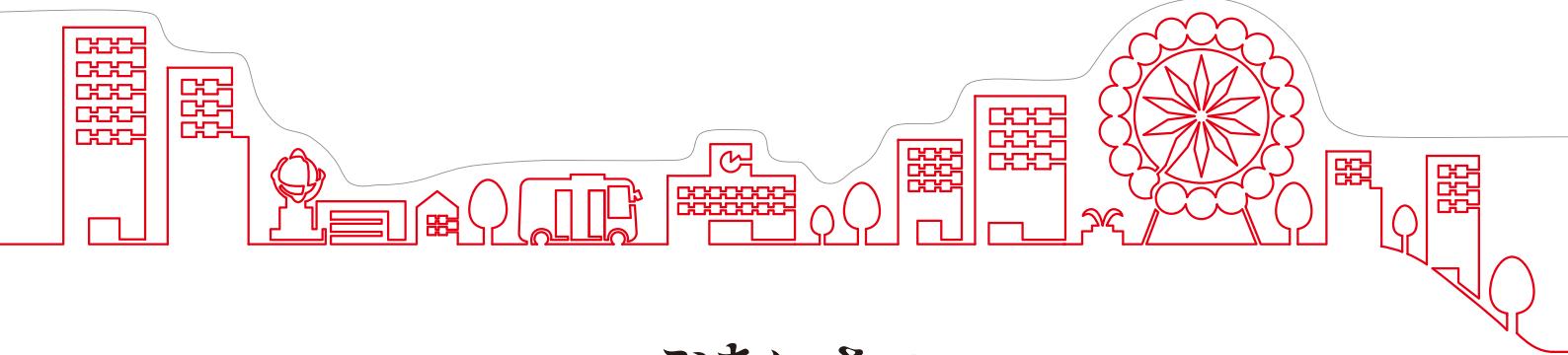




誰もが健康で、
幸せになれるまち 安城



ごあいさつ

安城市は、昭和27年に県下13番目、人口3万7千人の市として誕生しました。かつては「安城が原」と呼ばれ不毛の地であった安城は、先人たちのたゆまぬ努力により日本デンマークと謳われるほどの農業先進都市となり、その後は自動車製造業をはじめとする世界的なものづくり産業の集積地域に位置する優れた立地を活かし、産業都市へと発展いたしました。今日では、都市と田園のバランスが取れた、18万人を超える市民が暮らす快適なまちとなりました。

また、平成28年度からスタートした第8次総合計画では、健康であり幸せでありたいという市民共通の願いを受け、目指す都市像を「幸せつながる健幸都市 安城」と定めました。今後も市民一人ひとりが生活の豊かさとともに幸せを感じできるまちづくりを進めます。

この市勢要覧は、市の施策や各分野で活躍される市民の頑張る姿を紹介しています。本市の現状をご理解いただき、さらなる本市発展へのご協力をお願い申し上げます。

安城市長 神谷 学



Greetings

Anjo City was established in 1952 as the 13th city of Aichi Prefecture. The city developed from an advanced agricultural city, which was called the "Denmark of Japan", to an industrial city.

We set a goal to make Anjo a "Kenkoutoshi" (a city where people can live in good health and happiness). Toward this goal, we are promoting city development so that each resident can feel happiness combined with a high quality of life.

Gaku Kamiya, Mayor of Anjo City



安城市は、暮らしているだけで

健康で、幸せになれるまち。

市民一人ひとりの願いが

未来へとつながっています。





市民が健康であること、家族が健康であること。

その願いが自分や家族の「幸せ」につながる。

やがて、それは「健幸」になる。

市民に共通した「健康で、幸せでありたい」と願う想いを実現するため、

安城市は「健幸都市」を目指しています。

田園都市の礎を築いた都築弥厚のように、青春時代を安城で過ごした新美南吉のように、つながり、支え合いながら

「幸せつながる健幸都市 安城」は市民一人ひとりの手によって

未来へと受け継がれてゆくのです。





contents

- 2 [健幸×からだ] すべての世代が健康に
4 [健幸×まちづくり] 歩きたくなるまち
6 [健幸×農業都市] 農業先進地の明日
8 [健幸×子育て] 未来に輝く子どもたち
10 [健幸×産業] ものづくりの頂点を目指して
12 [健幸×暮らし] 健やかで幸せな毎日を
14 ANJO PHOTO GALLERY 1
未来につながる安城のこころ
15 明治用水と都築弥厚／新美南吉
23 ANJO PHOTO GALLERY 2
24 [歴史文化] 安城の軌跡
26 [伝統芸能・年間行事] 受け継がれる鼓動
28 市制65年のあゆみ
第8次安城市総合計画
30 幸せつながる健幸都市 安城
38 安城市議会
40 安城市City Guide／INFORMATION



すべての世代が 健康に

Helping all generations
maintain health

からだ × 健幸

「みんなの健康は、
健幸への第一歩です。」





健康づくりフォーラム Health promotion forum

健康に関するセミナーや健康測定など、家族みんなで参加できるイベント。

健やかなココロと カラダをつくる

健康は自分のためでもあり、家族のためにも大切なこと。安城市では、市民一人ひとりが健康を保つことができるきっかけや仕組みをつくり、生涯にわたり健康を自己管理していく力を高め、自らの健康づくりを実践できるようにしています。また、仲間づくりや社会参加を通して健康づくりに取り組める環境を整え、元気で活力のあるまちになることを目指しています。市民健康講座、健康測定会や市広報による健康情報の提供など、健康の大切さに気づく機会が豊富。健康づくりに関心のない人や、意識があつても行動に移せない人にも、健康づくりフォーラムや身近なウォーキングイベントの開催などで、取り組むきっかけをつくっています。夫婦、家族や友人同士が手を取り合いながら健康づくりに取り組み、ココロもカラダも健やかな毎日を送っています。

のためにも大切なこと。安城市では、市民一人ひとりが健康を保つことができるきっかけや仕組みをつくり、生涯にわたり健康を自己管理していく力を高め、自らの健康づくりを実践できるようにしています。また、仲間づくりや社会参加を通して健康づくりに取り組める環境を整え、元気で活力のあるまちになることを目指しています。市民健康講座、健康測定会や市広報による健康情報の提供など、健康の大切さに気づく機会が豊富。健康づくりに関心のない人や、意識があつても行動に移せない人にも、健康づくりフォーラムや身近なウォーキングイベントの開催などで、取り組むきっかけをつくっています。夫婦、家族や友人同士が手を取り合いながら健康づくりに取り組み、ココロもカラダも健やかな毎日を送っています。



Develop a healthy body and mind

In Anjo, we create opportunities and systems to help all people maintain their health. We establish an environment where people can promote health while making friends and participating in society. In this way, we are seeking to develop a more cheerful and vigorous city. An increasing number of residents are doing healthy exercises together, owing to the abundant opportunities that help them recognize the importance of health.

ヘルスマイトの活動 Activities of "Health Mates"

朝食の啓発や料理教室など、食生活を中心に健康づくりを進めるボランティア活動を実施。

佐藤さんご夫婦

健幸つながる Interview

手軽なエクササイズで気持ちよく。
雨の日も晴れの日も運動しましょう。

ノルディックウォーキングやスキー、棒びくすなどに夫婦で取り組み、地域では運動に関する指導も行っています。運動を通してみんなが健康で幸せに暮らせるよう夫婦で取り組んでいきたいです。



パパママ教室
Mommy & daddy classes

新生児のお世話体験や、妊娠中に気をつけたい食生活、歯の健康管理について学びます。

歩きたくなるまち

絶えず人が集まって交流し、
回遊する中心市街地に

安城市的新たな顔、中心市街地

拠点施設「アンフォーレ」が平成29年6月にオープン。図書情報館やイベントで利用できるホール・広場などの公共施設と、スーパー・マーケットなどの商業施設からなる複合施設です。

市民のみなさんが「やりたいこと」「や「楽しいこと」を実現する。新たな人と出会い、仲間ができる。アンフォーレでのこれらの健幸行動が中心市街地の賑わい創出につながります。それにより、中心市街地がふらっと行ってみたくなる、歩きたくなるようなまちになることを目指しています。

健幸
まちづくり

The city is
so inviting
for a stroll





A central area where people continuously gather, exchange and stroll

In June 2017, a hub facility is to be opened in the central area with the nickname "anforet". This facility will house a library and information center, a hall, an event square, and other areas that can be used by residents. Using these areas, we will further promote healthy activities for our residents, aiming toward a vibrant city where people cannot resist strolling around.

安城市まちなか賑わい

創出プロジェクト

Anjo Vibrant City Project

アンフォーレで「やりたいこと」が実現できるように準備しています。



新美南吉が今に息づく中心市街地

Central area where the traces of Nankichi Niimi are still felt

南吉が歩いたJR安城駅前商店街を中心に、南吉や南吉作品をモチーフとした壁画やオブジェを施しています。

**中心市街地一帯で
開催される
安城七夕まつり**

Anjo Tanabata Festival held throughout the entire central area

「願いごと、日本一。」のまつりにふさわしく、盛大に行われます。



みんなのやりたいことを
アンフォーレで実現！



石川 恵都子さん

健幸つながる
Interview

**大切な親子のふれあいを写真に。
親子の「今」を「未来」へ
持って行ってもらいたい。**

ベビグラファーとして安城市まちなか賑わい創出プロジェクトに参加しています。今後、子育て中のパパママが利用できる場所を中心市街地につくり、まちなかや商店街でイベントも実施したいです。



アンフォーレ
anforet

農業先進地の明日

稼げる農業の育成と
振興に向けて

Future of
the advanced
agricultural city

「日本デンマークを築いた、
開拓精神をこれからも。」

農業都市
× 健幸



Developing and promoting the profitable agriculture

Anjo City is blessed with an abundant water supply, owing to the excavation of the Meiji Canal. The city is called the "Denmark of Japan" for its remarkable development in agriculture. It remains one of the largest agricultural areas in Aichi Prefecture where urban agriculture is performed. In recent years, measures have been promoted for branding and for sixth-order industrialization, thereby bolstering the city's infrastructure for agricultural administration and expanding the consumption of agricultural products.

安城市は明治用水の開削により豊かな水利に育まれ、「日本デンマーク」と呼ばれるほど農業で発展を遂げてきました。現在でも恵まれた自然的・社会的条件を背景に県下有数の農業地帯として、水稻、野菜、果樹、花きなどの多角経営による都市近郊型の農業が行われています。近年は農業経営基盤の強化を図るため、ブランド化や6次産業化の推進、地産地消による農産物の消費拡大に取り組んでいます。

安城市は明治用水の開削により

安城の特産品

Special products of Anjo

米・麦・大豆をはじめ、施設野菜、露地野菜、果樹、花き、畜産など多岐にわたっています。



いちじく

Fig

ジャムやワイン、ゼリーなど加工品の製品化も進んでいます。

梨

Pear

地元育成の早生品種である「甘ひびき」が誕生しました。



きゅうり

Cucumber

「三河みどり」のブランド名で販売されています。

チンゲン菜

Bok choy

ハウス栽培で、県下トップクラスの産地となっています。



花き

Flowers

アンスリウムやシクラメンなどが生産されています。

安城和牛

Anjo beef

全国区の和牛ブランド牛肉と遜色のないおいしさです。



くろやなぎ
畔柳 真さん

農は日本人の原点。
そのプライドを胸に良いものを。

地元のお米は風土に合っている、だからこそ地元の人に消費してほしいと思います。生まれも育ちも安城なので、地域に恩を返しながら「かっこいい農家」になりたいですね。

健幸つながる
Interview



明治用水 Meiji Canal

矢作川を水源とし、安城市他7市約5,500haの農地を灌漑(かんがい)しています。現在、用水路はパイプライン化され、その流れを見ることはできませんが、上部は遊歩道として整備され、市民の憩いの場となっています。

未来に輝く 子どもたち

子育て×健幸

地域で
子どもを見守る、
あたたかいまちです。

A bright future
for the children





子育て家族に人気の 堀内公園

Horiuchi Park is popular among families with children

「花と緑とメルヘン」をテーマに、豊かな自然の中で思い切り遊べます。

Aiming to be a city where parents can give birth to and raise children with peace of mind

We are making efforts to establish systems that help people live with peace of mind in each stage of life, including marriage, pregnancy, childbirth, balancing between childcare and work, and education, so that residents can draw plans for their whole life. Measures are being taken to relieve parents of financial burden during child rearing (e.g. subsidy for children's medical fees) and to enhance consultation and support services. High-quality education is pursued at schools.

結婚から妊娠、出産、子育てと仕事の両立、教育の各ライフステージで、安心して暮らせる仕組みを構築し、生涯のライフプランを描けるまちであるよう努めています。子ども医療費助成、第3子以降の保育料・幼稚園授業料及び中学生までの給食費無料化など、経済的な負担の軽減をはじめ、親子の交流や情報交換を行える場の整備、相談・支援体制の強化を進めています。学校教育ではグローバル化への対応や質の高い教育を開拓し、教育環境の向上を図っています。

安心して**子ども**を生み育てられるまちを目指して



太田さんご家族

健幸つながる Interview

安城は公園も施設も充実。 安心の子育て環境が整っています。

自宅から徒歩圏内に公園がたくさんあってよく出かけます。それに子育て支援施設も充実。支援センターの先生方が親切で、子どもの成長を応援していただき、ほっとしています。



ICTを利用した学校教育 School education using ICT

児童生徒用のタブレット端末を導入し、学び合いなど授業の質を高めています。



子育て支援総合拠点施設 (あんぱーく)

"AnPark",
a comprehensive childcare support facility
遊びや集いの広場、情報収集などで利用できる地域の子育て拠点です。

ものづくりの 頂点を目指して

Climbing toward
the summit of
manufacturing

「安城から始まる、
オンリーワンへの挑戦。」

産業 × 健幸

強みを伸ばし
より成長するまちへ

安城市は農業先進地としての発展の一方、中部経済圏の中心である名古屋市から約30kmという距離や豊田市などの内陸工業都市、碧南市などの衣浦臨海工業都市に隣接するという地理的条件にも恵まれ、自動車関連企業をはじめとする大企業が進出。世界的なものづくり産業の集積地となっています。今後も地元産業の振興をはじめ、新規創業の促進などに取り組みます。

Enhance strengths to achieve further development

While Anjo has developed as an advanced agricultural area, it also has many manufacturing clusters, including automotive enterprises, owing to its favorable geographical conditions (proximity to the metropolitan Nagoya area and surrounding industrial cities). We will continuously promote local industries as well as facilitate startups.





① 安城ものづくりコンベンション
Anjo Manufacturing Convention

② 安城レーザー技術大学
Anjo Laser Technical Seminar

③ KEY PORT コワーキングスペース
KEY PORT Co-working Space

- ① 安城市産業界の技術力・ノウハウが一堂に会する展示型マッチング商談会。企業紹介ブースや特別講演など、次世代ものづくりの扉を開くチャンスです。
- ② レーザー加工について、基礎から産業応用までを学習する実践的な講座を開講しています。
- ③ 会員専用のコワーキングスペース。JR安城駅直下の快適な空間をオフィスに。

アイシン・エイ・ダブリュ株式会社

日高 康裕さん

第28回「技能グランプリ」
旋盤の部 金賞受賞

健幸つながる
Interview

**ものづくりで
安城市を盛り上げていきたい。**

ものづくりでは、お客様の要求を満たし、一歩上をいくものをを目指しています。これからも向上心と探究心を持って取り組んでいきたいですね。



毎日を 幸せな健やかで

For everyday life
in health
and happiness

暮らし × 健幸



都市と共生する田園風景

Countryside harmonized with urban areas

都市と田園のバランスがとれたまち。水や緑といった自然の多さは、子育て環境の良さにもつながっています。



区画整理による
住みやすい住環境

Realizing a pleasant residential environment through land reallocation

主要駅周辺を中心に、生活利便性の高い宅地の整備を進めています。

市民に愛される
公園整備

Development of parks loved by residents

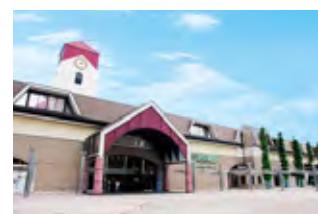
多目的に利用できる広場、
子どもに配慮した遊具など
がそろっています。



市内を走る主要道

Main road that run through the city

国道1号や23号といった幹線道路が
市の北部・南部を通っています。



新幹線三河安城駅

Mikawa-anjo Station on the JR Shinkansen Line

京都・大阪、東京へ、その玄関口として多くの人に利用されています。



安部さんご家族

健幸つながる
Interview

商業施設や公園がすぐ近くにあり
暮らしに豊かさを感じています。

駅まで歩いて行けたり、大型スーパー や ドラッグストア、公園が近所にあるなど、暮らしの中で便利さをとても感じられます。ご近所さんもあたたかくて、本当に暮らしやすいまちです。

豊かさを高め

健幸に暮らせるまちに

安城市への転入者を対象とした

アンケート調査結果では、交通の利便性や有効な土地利用などから「通勤が楽になった」「生活が便利になつた」「住宅が広くなつた」といった声が挙がっています。今後も、ニーズに合った宅地の整備とともに、暮らしやすいまちとしてのイメージを定着させていきます。そして、豊かで健康な暮らしの実現を導き、安城への愛着と誇りの醸成を高め、居住地として選ばれるブランド力を構築します。

High quality of life in health and happiness

We have received many remarks from residents that their commute has become easier, that their life has become more convenient, and that their house has become larger. We will further establish the image of Anjo as a nice city to live in, thereby leading to an even healthier, higher-quality life while nourishing people's affection and pride of Anjo.

「いつまでも住みたい、
住み続けたいまちに。」





ANJO PHOTO GALLERY

都会過ぎず、田舎過ぎず

水と緑と歴史のまち

みんなが「健幸」になれる場所



未来につながる 安城のこころ

Linking the Anjo spirit to the future



明治用水と都築弥厚
新美南吉

Meiji Canal and Yako T'suzuki
Nankichi Nintomi



都築弥厚開削計画図(天保3年)※
Excavation plan drawn by Yako Tsuzuki (1832)



かつての中井筋*
Former Nakaisuji



明治用水と 都築弥厚

Meiji Canal and
Yako Tsuzuki

Dreaming of a fertile Anjo

The Meiji Canal is an agricultural water channel whose source is the Yahagi River, and it irrigates approximately 5,500 hectares of farmland in Anjo and the surrounding areas. Yako Tsuzuki planned the large-scale development of new fields in these areas. His achievements provided a basis for the prosperous agricultural industry in Anjo, which is called the "Denmark of Japan".

愛知県のほぼ中央に位置する安城市を中心に、約5500haの農地を灌漑しています。かつて碧海台地は水が不足しており、安定した耕地の維持が難しいため、台地上に造られた溜池の水を巡り村々の対立が多くありました。この苦境を救うため、矢作川の水を導き、大規模な新田開発を行おうと計画したのが都築弥厚でした。計画が許可された直後に弥厚は病没してしまい、計画は取り下げられましたが、明治13年(1880)に明治用水は完成。碧海地域の土地は飛躍的に開発され、大正末から昭和初めにかけて、「日本デンマーク」といわれるまでの農業地帯となりました。

弥厚の夢は明治用水として実現し、今日の農業の基盤を築くことなりました。

豊かな安城を夢見て

明治用水は、矢作川を水源とし、愛知県のほぼ中央に位置する安城市を中心に、約5500haの農地を灌漑しています。かつて碧海台地は水が不足しており、安定した耕地の維持が難しいため、台地上に造られた溜池の水を巡り村々の対立が多くありました。この苦境を救うため、矢作川の水を導き、大規模な新田開発を行おうと計画したのが都築弥厚でした。計画が許可された直後に弥厚は病没してしまい、計画は取り下げられましたが、明治13年(1880)に明治用水は完成。碧海地域の土地は飛躍的に開発され、大正末から昭和初めにかけて、「日本デンマーク」といわれるまでの農業地帯となりました。

昔の農業の様子*
Farming in olden times

※…明治用水土地改良区より提供





かつての明治用水本流*

Former mainstream of the Meiji Canal



都築弥厚銅像

(弥厚公園)

Bronze statue of Yako Tsuzuki
(in Yako Park)



都築弥厚の生涯

明和2年 (1765)	三河国碧海郡和泉村(現在の安城市和泉町)に生まれる
文政10年 (1827)	新開計画を幕府へ出願
天保6年 (1835)	幕府から計画の一部許可が出たが、9月10日病没
天保13年 (1839)	新開計画の取り下げ
明治12年 (1880)	岡本兵松、伊豫田与八郎らの計画を基に開削工事開始
明治13年 (1880)	明治用水通水開始
大正2年 (1913)	従五位が贈られる

都筑弥厚ゆかりの地

明治川神社

Meijigawa Shrine is closely connected to Yako Tsuzuki

「明治川」といういかにも弥厚に、ふさわしい名前の神社。

用水守護のため、水に縁の深い三柱の神を中心に、
明治用水開削の功労者とともに弥厚が奉られています。



水を大切にするこころ

水のかんきょう学習館

Aquatic Environment Learning Center - Valuing Water Resources

明治用水を通して、水・農・食・環境について
楽しみながら学べる機会を地域や子どもたちに提供しています。
いつの時代も水の大切さを忘れないために。





安城の 新美南吉

Nankichi Niimi
in Anjo



安城高等女学校19回生入学記念写真
(昭和13年5月25日)

Commemorative photo : the 19th class of
Anjo Girls High School (May 25, 1938)



岩津天神への遠足
(昭和16年3月10日)

Short trip to the
Iwazu Tenmangu Shrine
(March 10, 1941)

Nankichi Niimi realized
his childhood dream in Anjo

Nankichi Niimi is known for "Gon, the Little Fox" and other fairy tales. He spent five years in Anjo as a teacher at Anjo Girls High School. During these years, he enthusiastically wrote stories and published his first fairy tale book, "Grandfather's Lamp", thereby realizing his childhood dream to become a fairy tale writer.

子どもの頃からの夢を
安城で叶えた新美南吉

童話『ごんぎつね』などで知られる新美南吉は、昭和13年（1938）4月に安城高等女学校の教師として赴任し、英語や国語などを担当しました。また、着任時に入学した19回生の担任として、卒業までの4年間を受け持ちました。南吉は昭和14年（1939）4月から現在の安城市新田町で下宿を始め、執筆活動にも熱心に取り組みました。昭和16年（1941）には初の

単行本『良寛物語 手毬と鉢の子』が出版され、その後も次々に代表作を執筆。翌17年には初の童話集『おだいさんランプ』が出版され、幼い頃からの夢であつた童話作家となりました。29年7か月という短い生涯の中で数多くの作品を残した新美南吉。作家として、教師として、安城で過ごした5年間は、最も輝いた青春時代でした。



豊かな感性そのままに 南吉が最も輝いた安城時代の作品たち



童話集
牛をつないだ椿の木

昭和17年(1942)執筆

昭和18年(1943)発行

Fairy tale book "The Cow Tied to a Camellia Tree"



伝記
**良寛物語
手毬と鉢の子**

昭和16年(1941)執筆・発行

Bibliography "The Tales of Priest Ryokan - a Handball and an Alms Bowl"



童話集
すずちゃんのランプ

昭和15年(1940)執筆／昭和17年(1942)発行

Fairy tale book "Grandfather's Lamp"

倉でランプを見つけてきた東一君。東一君のおじいさんは、そのランプを見てある話を始めます…。東一君の祖父が自身を語ったこの物語は、最初の童話集のタイトルになりました。表紙と挿絵は世界的な版画家の棟方志功によるものです。



童話集

花のき村と盗人たち

昭和17年(1942)執筆／昭和18年(1943)発行

Fairy tale book "Hananoki Village and the Thieves"

花のき村にやってきた5人の盗人たち。ずっと盗人をしてきたかしら以外は、盗人になりたての弟子たちでした…。盗人のかしらが花のき村の「心の善い人々」に信用されることで「美しい心」を取り戻し、改心するまでの不思議な物語です。



画帖

六根晴天

昭和14年(1939)執筆

Sketchbook "Rokkon Seiten"



詩集

雪とひばり

昭和14年(1939)執筆

昭和17年(1942)発行

Poetry "Snow and Skylark"

新 美 南 吉 の 生 涯	大正2年 (1913)	大正6年 (1927)	大正10年 (1921)	昭和7年 (1932)	昭和13年 (1938)	昭和14年 (1939)	昭和16年 (1941)	昭和17年 (1942)	昭和18年 (1943)	昭和19年 (1944)
	7月30日、愛知県知多郡半田町(現半田市)に生まれる	4歳	8歳	19歳	25歳	26歳	28歳	29歳	昭和17年 (1942)	昭和18年 (1943)
3月22日、喉頭結核のため29歳7か月で永眠	本名渡辺正八	11月、生母りゑ病没	7月、りゑの実家・新美家の養子となる	1月、「児童雑誌『赤い鳥』に『こん狐』掲載	4月、安城高等女学校に赴任	4月、安城町出郷(現新田町)の大見坂四郎方に下宿	10月、手毬と鉢の子	『牛をつないだ椿の木』	『花のき村と盗人たち』	『牛をつないだ椿の木』などの代表作を執筆
2月、安城高等女学校を退職	7月30日、愛知県知多郡半田町(現半田市)に生まれる	1月、りゑの実家・新美家の養子となる	1月、「児童雑誌『赤い鳥』に『こん狐』掲載	4月、安城高等女学校に赴任	4月、安城町出郷(現新田町)の大見坂四郎方に下宿	10月、手毬と鉢の子	『牛をつないだ椿の木』	『花のき村と盗人たち』	『牛をつないだ椿の木』などの代表作を執筆	3月22日、喉頭結核のため29歳7か月で永眠





「南吉語らいの椅子」
「Nankichi's bench of exchange」,
an object that reflects
the image of Nankichi reading a book

「南吉が青春を過ごしたまち 安
城」をキヤッチフレーズに、南吉のま
ちづくりを進めています。JR安城
駅前商店街を中心に、南吉や南吉
作品を題材とした「南吉ウォールペ
イント」をはじめ、新美南吉生誕百
年を記念して設置されたモニュメン
ト「南吉回想の窓」、ベンチに座つて
本を読んでいる姿をイメージした
オブジェ「南吉語らいの椅子」など、
歩く先々で南吉の世界観や、そのあ
たたかさに触ることができます。

A city where people can feel the "world of Nankichi"

We are developing a city filled with the traces of Nankichi under the catchphrase ; "Anjo, the city where Nankichi spent his young adulthood". People can feel the world of Nankichi and its warmth in many places across the city through the "Nankichi Wall Paintings", monuments, objects, etc.

新美南吉の まちづくり

Conveying the traces of
Nankichi Niimi



南吉が青春を過ごしたまち 安城



南吉の下宿先(新田町)

House where Nankichi lodged
(Shinden-cho)



南吉のうた庭園(桜町小学校)

Nankichi Poetry Garden
(Sakuramachi Elementary School)



貝殻詩碑(安城中部小学校)

A monument of Nankichi's poem about seashells
(Anjo Chubu Elementary School)



花ノ木地蔵(花ノ木町)

Hananoki Jizo statue
(Hananoki-cho)



百姓家詩碑(新田小学校)

A monument of Nankichi's poem about a farmhouse
(Shinden Elementary School)



ででむし詩碑(桜町小学校)

A monument of Nankichi's poem about snails
(Sakuramachi Elementary School)



牛詩碑(安城公園)

A monument of Nankichi's poem about cattle
(Anjo Park)



新美南吉生誕百年記念碑(安城高等学校)

A monument commemorating the 100th anniversary
of Nankichi's birth (Anjo High School)

市内の各所には、今なお残る南吉ゆかりの場所や
新たに整備され、親しまれているスポットがたくさんあります。
まちのここにも、あそこにも「南吉の世界」が彩っています。